

湖南省防災士連絡協議会情報提供委員会第4回会議議事録

日時 令和3年11月25日 19時～

場所 サンライフ甲西 1F大会議室

作成 喜多

出席委員

喜多(緑ヶ丘), 大平(北山台), 笠井(岡出), 南(岩根西), 竹内(西寺・丸山), 望月(団地),
曾我部会長(宝来坂) 以上7名

協議内容

地区防災計画、初期消火訓練および消火栓点検に関する現況調査表の結果報告文書について、現況調査表の結果を受けての今後の委員会としての行動について、初期消火訓練および消火栓点検のマニュアル採集確認、区で備えるべき防災資機材ベスト10の選出について

意見

- ・ 7月31日期限の各区区長あての現況調査票は全43区中、今現時点提出済の36区の結果をもって12月15日に、全区長に文書で報告済み。今回の回答結果で、地区防災計画を作成していない区は作成する意識づけ、初期消火訓練、消火栓点検をしていない区にはするよう意識づけをしたい。
- ・ 阪神淡路大震災では、地域防災計画(都道府県や市町村で作成する防災計画をいう)ではほとんど機能しなかったのもっと細かな単位である区ごとに作成する地区防災計画の重要性が明るみにでてきた。
- ・ 地区防災計画の作成方法を指導してほしい(2区)、作成にあたり懸念がある(1区)については委員会として、来年度に個別に対応し、一緒に作成できるようにもっていききたい。また、作成の意思がない3区におきましても来年度は区の体制もかわることもあり、ヒアリングしながらさぐっていききたい。
- ・ 地区防災計画を今後、作成する予定と答えられた区が13区あったが、毎年度最初に提出する防災訓練計画のところに、地区防災計画の作成に向けての進み具合を聞く設問を一緒に入れこませてもらう。
- ・ 毎年年度初めに危機管理防災課へ、全区が当年度に実施する防災訓練等の計画を提出しているが、これも「地区防災計画」の一つとみなせるのでは?各区によって災害リスク(土砂災害や浸水災害)は異なるので、自区のリスクや地域特性に沿った、オリジナルな地区防災計画はやはり必要である。
- ・ 初期消火訓練マニュアルおよび消火栓点検マニュアルを、当委員会で作成した場合、36区中34区が活用すると答えているので、今回、当委員会で作成した「消火栓訓練マニュアル」「消火器訓練マニュアル」「消火栓および消火栓ホース格納箱点検マニュアル(点検表含む)」を12月7日に、湖南省防災士連絡会のホームページにアップしました(PDFとEXCEL)ので、所属区の防災訓練・点検にぜひともご活用下さい。EXCEL形式もありますので、各区でご自由に加工して活用していただけます。
- ・ 防災資機材ベスト10の選出であるが、実際に被災された熊本地震や熊本の豪雨による災害時に役立った資機材を調べたが、自治会として保有すべき資機材として公表されている資料がなかった。
- ・ その代わりに今現在、湖南省内43区各区が保有している防災資機材の種類として多いもののベストを調べて公表したらどうか。実際に役立つかどうかは別として、より多くの区が保有しているということは、もちろん調べて保有した方がよいと各区が判断されて購入されているわけなので、有効な情報となるのではないかと思われる。危機管理課が近々、EXCEL形式で、全区の保有資機材を集計してもらえるということなので、それをもとに各区や幹事、会員に向けて有力な資料を次回委員会で作成する。
- ・ 次回委員会で、来年度の活動計画を立てる。

次回、情報提供委員会 令和4年1月20日(木) 19時～ サンライフ甲西 部屋未定

令和3年12月吉日

区長各位

湖南省防災士連絡会 情報提供委員会
湖南省危機管理・防災課 消防・防災係

地区防災計画、初期消火訓練および消火栓等点検に関する
現況調査票回答結果について

晩秋の候、貴殿におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は湖南省防災士連絡会の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、7月31日期限でご回答をお願いしておりました、標記の現況調査票の回答結果を取りまとめましたので、今後の自主防災組織運営にご活用いただきますよう、お願い申し上げます。なお、本結果は湖南省内全43区中、提出のあった36区の結果となります。(回答率83.7%)

記

◎地区防災計画の作成状況については、提出区36区中、すでに作成済みは17区(うち1区は古いが更新しない)、今後もともと作成する予定があったのは7区、この機会に作成する気になったが6区、作成方法を指導してほしいが2区、作成に懸念があるが1区、作成するつもりがないが3区でした。指導してほしい及び作成に懸念があると回答いただきました3区には、今後、委員会として作成に向けてフォローアップしていきたいと考えていますし、作成予定の13区につきましても、支援していきたいと考えています。

◎初期消火訓練および消火栓点検の実施状況について、36区中、消火栓訓練(放水あり)は13区、消火栓訓練(放水なし)が12区、放水有無不明が2区で消火栓訓練合わせて27区が実施している。今まで何もしていなかったが今後放水による消火栓訓練を実施しようと思うが1区ありました。

◎消火器訓練は36区中10区のみ実施している。この機会に実施しようと思うが1区。

◎消火栓および消火栓ホース格納箱点検は36区中25区が実施している。この機会に実施しようと思うが1区ありました。

◎初期消火訓練および消火栓点検マニュアルを当委員会で作成した場合、活用するが36区中34区、活用しないが2区でした。

初期消火訓練(消火栓および消火器訓練)、消火栓等点検におきましては、マニュアル作成を要望される区が大多数でしたので、当委員会でマニュアルを作成致しました(湖南省防災士連絡会ホームページにEXCELおよびPDF形式でアップしています。※1)の

で、今後の消防活動にぜひともご参考にして下さい。

湖南省防災士連絡会情報提供委員会は、各区の地区防災計画（※2）の作成、各区の初期消火訓練（消火栓および消火器）、消火栓および消火栓ホース格納箱点検の実施を推奨します。また、消火栓訓練で放水していない区は、実際の水圧を体験することが大切です（放水するには使用消火栓の市への許可申請および消防団班長以上の立ち合いが必要です）ので、できれば何年かに1回でも、放水による訓練をおすすめします。

お忙しい中、ご回答いただきまして、誠にありがとうございました。

以上

※1 湖南省防災士連絡会ホームページ

<https://konan-bousai.com/>



※2 地区防災計画

区民の生命および財産を守るためにはなくてはならないものだと考えており、都道府県や市町村などの行政側が定める防災計画（地域防災計画という）だけでは、阪神淡路大震災の際に実際にうまく機能しなかったこともあり、区などの単位で作成する、自主・自発的な活動のための、地区防災計画の重要性が叫ばれています

令和3年度（2021年度）事業報告（予定含む）

委員会名 情報提供委員会
委員長 喜多 一朗

令和3年度（2021年度）事業報告

事業	事業内容	実施日	実施場所	参加人数	費用 (概算)
地区防災計画 および消火 栓・消火器訓 練、消火栓ポッ クス等点検に 関する現況調 査（各区長あ て）の作成、集 計	各区の地区防災計画の作成状況、 初期消火訓練、消火栓ボックス等 点検の実施状況を把握するため、 現況調査表を作成し、各区に配布 し、集計する。	作成： 5/8、 7/8 集計： 10/7	サンライ フ甲西	5/8：5 名、 7/8：8 名、 10/7 ：5名	0円
消火栓訓練マ ニュアル、消 火器訓練マニ ュアル、消火 栓ボックス点 検マニュアル および点検表 作成	上記、現況調査表の回答で作成要 望が大多数であったため、消火栓 訓練マニュアル、消火器訓練マニ ュアル、消火栓ボックス等点検マ ニュアルおよび点検表を作成し、 各区で活用できるように、湖南省 防災士連絡会ホームページにアッ プする。	作成： 10/7、 11/25	サンライ フ甲西	10/7 ：5名、 11/25 ：7名	0円
各区保有防災 資機材の紹介	市へ提出されている、各区の保有 防災資機材の集計をし、多いもの から順に、まためずらしい資機材 もあれば各区へ紹介する。	集計・ 作成： 11/25 ，1/20	サンライ フ甲西	11/25 ：7名 1/20 ：未確 定	0円